

令和4年度 学校関係者評価報告書

学) 曙学園 あけぼの幼稚園

1. 本園の教育目標

別紙あけぼの幼稚園教育課程参照

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

	課題	具体的な取り組み方法
1	指導計画	・年齢や、発達に応じた身体をしっかりと動かす遊び、ルールのあるゲーム遊びなどを積極的に取り入れ、一年間の発達の流れを考慮し体力向上や、遊びながらルールを守り、友だちとの関わりが深まるよう、指導計画をたてる。
2	健康や安全への配慮	・遊具の正しい使い方を子どもに分かりやすく伝え、大型遊具で遊ぶ際は必ず、教師が見守る。
3	保育内容	・年間を通して、園の周りの植物や虫、鳥などの色や形、鳴き声、季節などに興味を持って関わられるようにしていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※詳しい評価項目は別紙自己点検・自己評価表参照

評価項目	評価	取り組み状況・結果
園の教育理念・目標・方針の理解	A	園の教育理念を理解し、指導計画に反映している。
教育課程と指導計画の作成	A	本年度重点的に取り組む課題の「年齢や、発達に応じた身体をしっかりと動かす遊び、ルールのあるゲーム遊びなどを積極的に取り入れ、一年間の発達の流れを考慮し体力向上や、遊びながらルールを守り、友だちとの関わりが深まるよう、指導計画をたてる。」は年間を通して、計画され、実施できている。
環境構成	A	幼児が安全で清潔な環境の中で心身ともに安定し興味関心を持って、遊びこめる環境づくりができている。
子ども理解	A	一人一人の子どもの様子を観察、理解し、発達を見極め、寄り添うよう努めている。
指導、援助と関わり	A	子ども一人一人の発達の特性を理解し、それに応じた関わりができている。
特に配慮が必要な幼児への支援	A	支援を要する子どもの個別指導計画・支援計画を作成し、その子どもの必要とする支援ができている。
保育内容	A	各領域がまんべんなく達成される保育が出来、取り組むべき課題に上がった、「年間を通して、園の周りの植物や虫、鳥などの色や形、鳴き声、季節

		などに興味を持って関わられるようにしていく。」がきちんと達成されている。
健康や安全への配慮	A	本年度重点的に取り組む課題の「遊具の正しい使い方を子どもに分かりやすく伝え、大型遊具で遊ぶ際は必ず、教師が見守る。」は、安全な遊具の使い方の指導、見守りが出来ている。
幼児への人権の配慮	A	子どもたちの人格を否定したり、プライドを傷つけないように気をつけながら子どもと関わっている。
教師間の連携	A	職員会議を通して子どもの共通理解し対応している。
資質向上のための研修	B	園外、園内研修ともに昨年度より回数が少なかった。
保護者への対応と家庭支援	A	保育参観や、個人懇談会など実施し、日々の子どもの様子をお知らせする便りなど年間を通して実施することが出来ている。
地域との関わり	B	感染対策もあり、地域との関わりがほぼ出来なかった。

A 達成できている B 達成できていない C 分からない、該当しない

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

今年度の取り組む課題

1「年齢や、発達に応じた身体をしっかりと動かす遊び、ルールのあるゲーム遊びなどを積極的に取り入れ、一年間の発達の流れを考慮し体力向上や、遊びながらルールを守り、友だちとの関わりが深まるよう、指導計画をたてる。」

2「遊具の正しい使い方を子どもに分かりやすく伝え、大型遊具で遊ぶ際は必ず、教師が見守る。」

3「年間を通して、園の周りの植物や虫、鳥などの色や形、鳴き声、季節などに興味を持って関わられるようにしていく。」は、年間を通してきちんと達成できた。

評価項目「資質向上のための研修」では参加が少し前年度より少なかったため、来年度は園内研修も含め、実施したい。また、「地域との関わり」では、地域に高齢者が多いため、感染対策を工夫して、交流活動を実施したい。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	資質向上のための研修	学びたい分野の講師を招いて、園内研修を実施する。
2	地域との関わり	感染対策を工夫して、地域の方と交流できる活動を計画、実施する。

6. 学校関係者の評価

新型コロナウイルス感染拡大による、厳しい環境の中、子どもたちのために何ができるかを考え、実施していただき、ありがとうございました。